

第22回： 化学物質による地下水汚染と水質基準改訂の動向

開催日： 1993年2月24日～25日 / 会場： 「北とびあ飛鳥ホール」東京都

開催趣旨： WHO、EPA等で水質基準の改定の動きがみられ、わが国においても厚生省および環境庁でそれぞれ基準の見直しの検討が進められており、近日中に公表されることになっています。一方、合成化学物資等による地下水汚染問題も、その実態が明らかになり、さらに原因究明およびその浄化対策等の研究開発が行われています。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 地球サミットと南北問題（小野川和延／環境庁地球環境部）
- 水質環境基準改定の経緯（早水輝好／環境庁水質保全局水質管理課）
- 水道水質に関する基準の制定について（辻昌美／厚生省水道環境部）
- WHOガイドライン改定の経緯（眞柄康基／国立公衆衛生院水道工学部）
- 飲料水中化学物質の生体影響（安藤正典／国立衛生試験所環境衛生化学部）
- 地層と地下水汚染（新藤静夫／千葉大学理学部）
- 土壌・地下水汚染の現状と動向（中杉修身／国立環境研究所）
- 地下水汚染浄化の現状と課題（平田健正／国立環境研究所）
- 地下水汚染解析とシミュレーション（藤縄克之／信州大学教養部）